

新年度に入り、真新しい服に身をつつんだフレッシュパーソンをよく見かけるようになりました。また、桜前線も北上し、春を感じる今日この頃です。

さて、日本政府観光局の発表によると、2018年の訪日外国人人数は約3119万人で、2000年の475万人と比較して約6.5倍の増加になりました。また、日本と海外との仕事面でのつながりも増えているせいか、最近では街中で外国の方を見かけることが多くあります。

今月号は「鉄道総研の国際活動」を特集しました。振り返ってみれば、昭和から平成に時代が変わった30年前は、日本の鉄道関係者が海外で積極的に活動するとは思いつきませんでした

したが、今や、国際的な市場における活動は日本の鉄道にとって必須になっています。平成が終わり、次の30年を見据えた時、日本の鉄道の国際化はさまざまな面で、ますます加速していくものと予想されます。鉄道総研にとっても、国際活動はますます重要になっていくものと考えられます。

来月号の特集は「鉄道の固有現象の解明」です。台車の蛇行動の発生条件の解明や車両の低周波空力音の解明など、車両、電力、軌道、環境工学の各分野から、鉄道に固有に発生する現象を解明するための取り組みを紹介します。どうぞご期待ください。(H. N.)